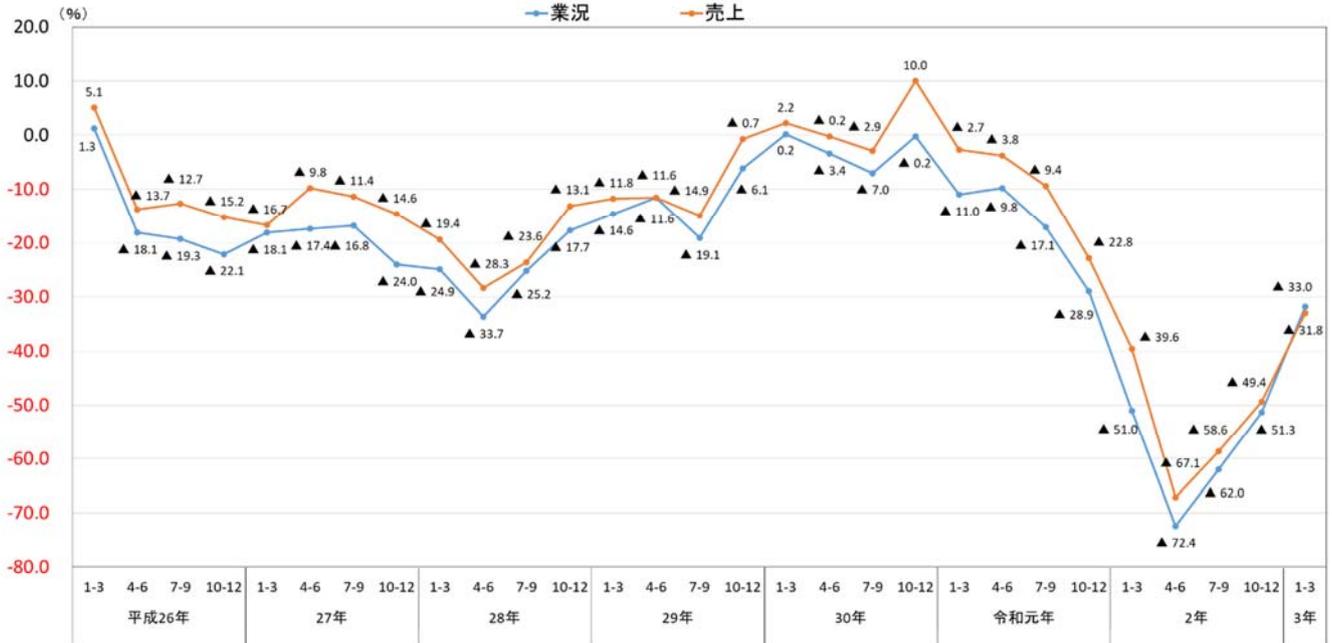


(5) 市内中小企業の景況感

堺市が実施している「地域産業経済動向調査」によると、業況及び売上の各DIは、平成28年4～6月期にかけて、平成26年消費税の6%から8%の引き上げに伴う駆け込み需要の変動減の影響等により、一時的に改善する局面があったものの低下傾向にあった。その以降、平成30年10～12月期にかけて、各DIは一時的に悪化した局面があったが、上昇傾向となっている。令和元年1～3月期以降は、消費税の8%から10%の引き上げ及びコロナ感染症などの影響で各DIは急速に悪化していたが、令和2年7～9月期以降は、回復している。

図表 28 各DI（業況、売上）の推移



注：

- ・ データの出所：「地域産業経済動向調査」(堺市産業振興局)
- ・ DIは「Diffusion Index」の略で、景気動向指数であり、景気全体の現状を知ったり、将来の動向を予測したりする時に使われる経済指標である。